

自治会報

さがみはら

No.44

平成16年3月発行
発行部数 17万5千部

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 山口 省吾

題字 相模原市長 小川勇夫

つくりだそう自治の力で明るいまちを

現況	地区自治会連合会数	18
	自治会数	434
市人口	加入世帯数	159,418世帯
世帯数	班(組)数	11,728
面積		90.41km ²
		H.16.1.1現在



古紙配合率100%再生紙を使用しています

事務局 〒229-0036 相模原市富士見6-6-23けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒229-8611 相模原市中央2-11-15相模原市役所 市民生活課内 TEL.042-769-8226



(中央地区)

中央地区の相生3丁目自治会(松田宏会長)では、頻発する盗難等の被害を受けないよう、「女性や子どもでも安心して歩け、盗難事件等が少ない街」を目指し、行政に頼るだけでなく、できることは自分たちでやろうと決意、活動を効果的に行うため、隣接する相生町・相生4丁目・栄・弥栄・高根2丁目・松が丘を含めた7自治会で協力し、定期的に防犯パトロールを行う事にしました。これにより発足したパトロール隊「ジョイント・サーティ」(飛澤大山隊長)は、1月17日(土)、雪の降る中、初めてのパトロールを行いました。当日は、女性3人を含む住民19人、活動に協力を得ている犯罪防止活動に努めるNPO法人「日本ガーディアン・エンジェルズ」7人、警察官などを含む32人が参加し、2班に分かれて地域内のパトロールを行いました。

この防犯パトロールは、地域に根付き、犯罪抑止につなげるために、今後も定期的に行うこととしています。

防犯のための 自衛活動を立ち上げ

近年、社会経済情勢等を背景に新しい形態の犯罪が発生し、年々増加の傾向にあります。身近な犯罪としては、「空き巣」などの侵入犯罪や、「ひったくり」「車上狙い」などの街頭犯罪、子どもに対する犯罪が市内でも多発しております。

昨年、市が実施した「市民満足度調査」によると、防犯対策充実への関心が高い結果となっております。このため、市におきましては平成16年度には、犯罪の多発化に対応した総合的防犯対策として「安全・安心のみちづくり事業」を新たに展開することとし、新規事業の実施も予定されています。

各地区の自治会や地区自治会連合会等においては、一人ひとりの防犯意識や自警意識の高揚を図るための活動を行っております。今回は、中央地区、大野北地区、上溝地区の活動をご紹介します。

効果的な防犯対策には、行政との連携を一層密接にすることの他、地域ぐるみでの取り組みを行うことが重要となりますので、皆さん一人ひとりの参加と協力をお願いします。

安全・安心のみちづくり



(大野北地区)

大野北地区の自治会法人山王自治会(佐藤正明会長)では、毎年師走の1週間程、歳末特別警戒を行っています。期間中は役員が防犯広報車で地域を巡回し、防犯強化を呼びかけています。最近、不審者や空き巣などが各地で多発していますが、「普段も何か事件があれば広報車を出し、皆さんに注意をお願いしています」と会長。広報活動を中心とした防犯意識の啓発に活発に取り組んでいます。

防犯意識の啓発活動



(上溝地区)

上溝地区防犯協会(小正常良会長)では、年末年始特別警戒の一環として、昨年12月25日(木)の午後1時30分から2時30分まで、上溝駅前や横浜銀行上溝支店前などで防犯キャンペーン活動を行いました。当日は役員等14名が、約500枚の防犯チラシや防犯カレンダーを配布し、防犯意識の高揚を図りました。

防犯キャンペーンを 実施

麻溝地区
座間 正見
井上 恭男
落合 正男

上溝地区
堀 喜久雄

大野南地区
武田 準一
山本 ツヤ
松野 隆一
林 健二
佐藤 博亮
松原好三郎

大野北地区
宮崎 勝
長崎 章子

橋本地区
吉川 一三

中央地区
中山 幸二

横山地区
小林 茂裕

清新区
田邊 和雄

小山地区
武井 弘吉

相模台地区
山口 和夫
大槻 和弘

東林地区
木俣 壽保
矢田 正義
中村 壽雄

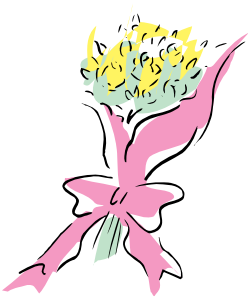
相模台地区
山口 利明
高橋 尚

東林地区
鈴木 聖二
櫻井 孝道
吉村 正

相模台地区
菅野 節子
齋藤 豊

相模台地区
佐藤 あつ子
小池 孝夫

平成15年度の相模原市自治会活動功労者感謝状贈呈式が、平成16年2月14日(土)に市民会館で行われました。
これは、心かよいあつ明るいまちづくりを推進するため、地域住民の福祉向上に寄与した方に相模原市が感謝の意を表するもので、今年度は48名の方が市長から感謝状の贈呈を受けました。受賞者は次の方々です。(敬称略)



地域市政懇談会

平成15年度 地区別議題

各地区自治会連合会と市との共催で行われる「地域市政懇談会」が昨年8月から11月にかけて開催されましたので、各地区の議題をお知らせします。
なお、本年度は、「市町村合併について」が市からの議題としてありました。
地区名の()内は議題数

地区	議題名
大沢 (9)	1 市道の拡幅整備について (1)市道下九沢51号の早期拡幅整備について (道路整備課) (2)市道下九沢152号の道路拡幅整備について (道路整備課) 2 市道下九沢大島の大沢中入口交差点及び市道大島429号との交差点改良について (1)大沢中入口交差点について (道路整備課) (2)市道下九沢大島と市道大島429号との交差点について (道路整備課) 3 内出地域への交番設置について (交通安全課) 4 バス路線の廃止及び変更に対する反対について (1)橋本駅～榎戸～上大島 (都市交通計画課) (2)橋本駅～上田名～上溝～市役所～相模原駅 (都市交通計画課) ① 犯罪の低年齢化及び学校5日制に伴う子供たちの育て方について (追加・青少年課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
東林 (8)	1 「ふれあいセンター」及び「小型子どもセンター」の設置について (1)「ふれあいセンター」の設置について (企画政策課) (2)「小型子どもセンター」の設置について (子育て支援課) 2 東林間駅周辺に「駐輪場の増設」と「市道東芝への歩道の設置」について (1)東林間駅周辺に「駐輪場の増設」について (駐車場対策課) (2)「市道東芝への歩道の設置」について (道路整備課) 3 航空機騒音の影響が多大な東林地区に対する特別配慮について (渉外課) 4 相模原南警察署の移転について県に要請を ① 市道翠ヶ丘の拡張整備について (追加・道路整備課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
大野中 (10)	1 さがみはらパートナーシップ推進指針について (1)地域団体活動の位置付けについて (パートナーシップ推進課) (2)指針策定の背景について (パートナーシップ推進課) (3)指針の普及啓発について (パートナーシップ推進課) (4)役割分担の基本的な考え方について (パートナーシップ推進課) (5)団体活動の重複について (パートナーシップ推進課) (6)モデル事業の評価について (パートナーシップ推進課) (7)地域団体への支援について (パートナーシップ推進課) (8)さがみはら都市みらい研究所の役割について (追加・さがみはら都市みらい研究所) 2 地域福祉計画の策定について (地域福祉課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
田名 (9)	1 県道及び市道の拡幅整備について (1)県道54号(相模原愛川)の拡幅整備について (国県道対策室) (2)市道田名452号(通称久保沢街道)の拡幅整備について (道路整備課) (3)市道堀之内陽原の拡幅整備について (道路整備課) 2 ダイオキシン類測定方法について (1)天候による悪臭付き排煙の原因と対応策について (環境保全課) (2)田名南ふれあい広場の測定結果と調査方法について (環境保全課) (3)陽原への産業廃棄物処理施設設置の計画について (追加・環境保全課) 3 バス路線の再編に対する考え方について (1)バス路線の系統の廃止、新設等に係る協議について (都市交通計画課) (2)バス路線再編に対する市の考え方について (都市交通計画課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
相模台 (4)	1 産業廃棄物処理業者「有限会社グリーンアサヒ」について (1)炉の解体指導について (環境保全課) (2)解体の実施について (環境保全課) 2 相模台地区幹線道路の整備に係る検討組織の設置について (土木計画課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
光が丘 (2)	1 地区社会福祉協議会の公的活動拠点の確保について (学校施設課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」

地区	議題名
橋本 (4)	1 こどもセンター設置についての再要望 (子育て支援課) 2 自治会加入促進についての再要望 (市民生活課、清掃総務課) 3 アパートの自治会加入促進について、市行政バックアップのお願いについて(市民生活課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
横山 (4)	1 居住地内、道路のバリアフリー化について (道路補修課) 2 市の行政機関スリム化への提言 (事務管理課) ① 社会福祉協議会の賛助会費について (追加・地域福祉課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
麻溝 (10)	1 道路舗装とミラーの取付けについて (交通安全課、道路補修課) 2 横浜水道みち緑道の整備について (公園課) 3 住居表示の実施について (戸籍住民課) 4 相陽中学校前通りの歩道整備について (交通安全課、道路整備課) 5 通学路の危険箇所の改善について (1)規制看板の改善及び取締り (交通安全課) (2)当麻麻溝第一踏切について (交通安全課、土木計画課) (3)泉屋百貨店前の道路整備について (道路整備課) 6 学校施設の改修等について (1)トイレの改修等について (学校施設課) (2)空調設備の設置について (学校施設課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
相模台 (3)	1 市民センター等のコミュニティ機能を持つ公民館、出張所建物の整備について(企画政策課) 2 相模台中学校校舎教室の地域利用について (学校施設課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
大野北 (8)	1 JR矢野駅北口駅前マンション建設に伴う環境の変化に対応しうる道路等の新設について (都市交通計画課、土木計画課) 2 青山学院大学学生の通学途上の問題点について (企画政策課) 3 地域から選出される行政関連委員等の選出方法について (1)民生委員・児童委員の選出方法について (地域福祉課) (2)保護司の選出方法について (地域福祉課) (3)行政相談委員の選出方法について (市民相談室) 4 JR淵野辺駅利用者の混雑緩和について (1)下り町田駅止まりの電車の淵野辺駅までの延伸 (都市交通計画課) (2)電車の本数の増加 (都市交通計画課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
星が丘 (3)	1 千代田2丁目地域内における交通安全対策について (交通安全課、道路補修課) 2 災害時の給水対策について (生活衛生課、商業観光課、防災課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
上溝 (4)	1 道保川公園出口前の横断歩道設置について (交通安全課) 2 上溝南小学校通学路の信号機設置について (交通安全課) 3 田中橋の拡幅整備について (道路整備課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
中央 (4)	1 裁判所 拘留所・合同庁舎周辺道路の交通対策について (企画政策課、交通安全課、駐車場対策課) 2 富士見5丁目ふれあいの森内防犯灯設置について (みどり対策課) 3 中央公民館の改築について (生涯学習課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
小山 (6)	1 相模総合補給廠返還の状況と跡地利用について (渉外課) 2 相模総合補給廠西側及び北側におけるフェンス際の舗装について (道路補修課) 3 JR相模原駅北口で生活するホームレス対策について (地域福祉課) 4 県道503号(相模原立川)における歩行者用信号機及び横断歩道の設置について (交通安全課) ① 小山路踏切の改良について (追加・道路整備課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
新磯 (6)	1 新磯小学校のグラウンド拡張について (学校施設課) 2 通学路の安全確保に伴う踏切(新戸・八幡宮)の改良及び歩道整備について (1)新戸及び八幡宮(新磯)踏切の改良について (土木計画課) (2)県道46号(相模原茅ヶ崎)の歩道整備について (国県道対策室) ① JR相模線ガード下道路について (追加・土木計画課) ② 市道新戸111号について (追加・南土木事務所) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
清新 (4)	1 南橋本駅周辺整備事業について (都市交通計画課) 2 住宅地へのマンション建設に伴う諸問題について (1)マンション建設規制について (都市計画課、建築総務課、建築指導課、建築審査課) (2)マンション建設と自治会との関係について (市民生活課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
大野南 (5)	1 航空機の騒音の解消並びに地域住民への配慮について (渉外課) 2 ひたたくり多発地域における防災行政無線「ひばり放送」の活用について (広聴広報課、防災対策課、交通安全課、防災課、予防課) 3 小児の救急・急病時の支援体制について (1)小児の夜間・休日救急外来の設置について (地域医療課) (2)24時間対応の救急医療施設の拡充について (地域医療課) ◎ 市からの議題「市町村合併について」
合計	103件

暮らしの知識

お彼岸とお盆

【3】お彼岸とは、春分・秋分の日を中点として、前後3日間を彼岸会(ひがんえ)と称し、心身を整え清浄に過ごすという、精神修養の期間です。

お彼岸は、春分・秋分の日を中点(ちゅうぶん)とし、前後3日間を彼岸会(ひがんえ)と称し、心身を整え清浄に過ごすという、精神修養の期間です。

お盆の行事は、13日に迎え火を送り火、盆踊りなどは素晴らしの伝統行事となっています。

人物紹介

34

柔道といいますが、日本から世界に広まったスポーツとして知られていますが、今回の人物紹介は、中学生チャンピオンの平井勝君、中村美里さんと所属する相武館吉田道場の吉田勝監督です。



写真左から平井勝君、吉田勝監督、中村美里さん

最初は、平井君と中村さんです。2人ともシッカリ馴染んだ柔道着姿。平井君は、相原中学校の3年生で、昨年8月に開催の全国中学校柔道大会66キ口級の優勝者です。身長167cm、筋力トレー

平成15年度コミュニティ助成事業購入品目一覧

「コミュニティ助成事業」とは、宝くじの普及・広報を図るための事業費を財源として、財団法人自治総合センターが地域住民のコミュニティ組織等へ助成を行う制度です。

Table with 5 columns: 品目, 物品名及び仕様, 数量, 地区名. Lists various electronic equipment like cameras, printers, and computers.

厚生施設に次の施設が加わります

平成16年4月1日から、次の3ヶ所の施設と新たに契約を結びます。自治会員の皆様への特典を用意していますので、ご利用ください。

お詫びと訂正

昨年10月発行の「自治会報さがみはらNo.43」3面に掲載した「青樹荘」東京事務所の電話番号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

夢のある「ふるさと」創りを目指して

清新地区 自治会法人
小山2丁目自治会長
佐藤 彰夫

「お住まいは」と聞かれて「小山2丁目に住んでいます」と答えたとき、残念なことに「町田市ですか」と再度聞かれることがあります。境川をはさんで町田市にも小山がありますので、



人が飲む水の確保にも大変な苦労をしたそうです。したがって宅地として利用され始めたのは昭和40年代以降のことです。家庭の中心である30歳代以上の人は、ほとんどが他地域からの転入者で、土地とのなじみが少ないことから、自治会活動への参加意識も低いのが現状です。

間違えられても仕方がないのかもしれませんが、私たちの住む地域は氷川神社社の後ろに位置し、自治会会員数は、80世帯と活動しやすい会員数となっています。

しかし、現状に甘んじることなく、身近な親しみのある町づくりをしようと「わがまち小山」を合言葉に活発な自治会活動を展開しております。特に中学生以下の子どもたちは「わがまち小山」がふるさとになります。

子どもたちが「ふるさととは？」と言われたら胸を張って誇れる町づくりを目指し、公民館主催行事、夏祭りはもちろんのこと、子ども中心の「餅つき大会」、高齢者中心の「敬老のついで」等々、参加者が手を使い、額に汗をしながら、手間はかかっても金をかけない手づくりの温かいふるさとづくりを目指して自治会活動にまい進しています。

自治会館建設と感謝と

子孫に誇れる地域住民の拠点
中央地区 東第3自治会長
篠崎 武



東第3自治会は西門商店街から相模原6丁目全域です。昔は酪農の家もあり、林や畑、草地

平成10年4月、私が自治会長になり、早や6年が経ちますが、公会堂に入って畳の上には大きなゴキブリが何匹も出てくるのに出会いました。会員のお母さん方と大掃除を繰り返して、ゴキブリは出なくなりましたが、戦後の老朽化した建物は雨漏りがし、屋根を葺き替えなければならなくなりました。見積を取り、協議を重ねた結果、新しい集会所の建設に踏み切りました。

もあって、国道16号を走る車がよく見えました。今は住宅地にアパートやマンションが乱立し、昔とは隔世の感があります。

従来住民は集会所を公会堂と呼び、16名の名義人が所有し、土地を自治会が地主から借用していました。

問題は山積していましたが、地主に半分土地を返還し、半分は無償で東町連合自治会(東第2、第3)に戴き、補助金を市と国に申請、度重なる折衝の末、資金の目途も立ち、昨年10月着工、鉄骨2階建の東町連合自治会館が、今春完成します。

訓練を実践する中で、避難所の収容可能人員、救護所の部屋及びヘリポートの位置等、幾つかの問題点が見つかり、同じ学校を避難所として利用する全自治会で、マニュアルを見直すことの必要性を痛感し、平成15年に避難所運営協議会を組織し、検討を始めた。

災害に備えて

大野南地区 文京中央自治会長
佐々木 敬泰

阪神淡路大震災後、9年目となり記憶も風化しつつあるが、東海地震、南関東地震等が懸念されており、相模原は地盤が強く固だからと安心して居ることは出来そうにない。

今こそ、災害時に備え、慌てぬ用心をする事が大事である。本自治会では、4年程前、近



隣自治会からも単独の自治会では人数が少なすぎて防災訓練を実施することが難しいため、共同訓練を実施することを申し込まれたことを契機に、近隣5自治会で避難所運営マニュアルを中心に勉強を始め、防災訓練を実施してきた。

直し、準備するのも取り越し苦労ではないと思う。このような観点から立ち上がった運営協議会だが、その歩みは遅遅としておぼつかないが、同じ危機感をもち共に研究することが大切である。

むかし昔 No.32

『東林間都市駅』(現・東林間駅)

東林地区

自治会法人
東林間自治会長
木俣 壽保

東林地域の交通の便としては、昭和2年(1927)4月に小田原急行

鉄道により、新宿・小田原間が開通後まもなく昭和4年(1929)4月に相模大野信

号所から片瀬江の島間が開通して、東林間都市駅



昭和62年頃の東林間駅舎

(現・東林間駅)昭和16年に改称)が開設された。このときは、現在の相模大野駅は線路の分岐の為の信号所であり新原町田駅(現・町田駅)昭和51年に改称)の次が東林間都市駅であった。新宿駅から東林間駅までの

運賃は、大人64銭(現在400円)、町田駅から東林間駅までは大人5銭(現在130円)であった。開通当時の東林間は10戸そこそこの過疎地であったので、小田急では成田の宗吾分霊堂を作ったりして人寄せに努め、昭和7年の入式の日には1万5千人もの人出があったと言われている。しかし、ゴタゴタがあつて、間もなく取り壊しの破目に陥ってしまったのである。

また、戦中には戦時体制が敷かれ、閉鎖されてしまったこともあった。そこで、地元の名士たちが、戦時中に小田急から借りて開墾していた土地

を返還して昭和24年(1949)に東林間駅は再開された。(昭和62年発行の「東林間100年誌」より)現在は、1日の乗降客が21,000人程である。



昭和28年新築の東林間駅舎

南台4丁目地域住民のための「南台公園」が開園しました!

相模台地区 自治会法人
鶴ヶ丘自治会長
吉田 保彦

地元の念願であった公園が、昨年11月3日に、「南台公園南台4丁目11番地先」として開園いたしました。厳しい財政事情の中で、地域住民の要望をかなえていただき、市に対して地元関係団体は大変喜んでおります。

(1)公園の全体面積は、

- ①遊戯ゾーン 約1,000㎡

- ②多目的広場 約4,000㎡ (うち、防災備蓄倉庫用地480㎡を含む)

最後に、この公園を地域のみならずイベントや憩いの場として利用していきたいと思っております。

- (2)公園の主な整備内容
 - ① 防災時の一時避難場所や地域の交流の場となるように配慮
 - ② バリアフリー化を図り車椅子も公園に入りできるよう配慮
 - ③ 防犯面を考慮し、見通しが利くような植栽に配慮
 - ④ 災害時の簡易トイレ用マンホール2基を設置

なお、公園整備にあたっては、地域みなさんのご意見等をお聞きし、整備していただきました。



自治会報さがみはら

編集委員

- 坂井 敏克 神崎 利秋
- 宮崎 直道 佐藤 彰夫
- 小淵 三郎 福田 慎一
- 原 稔 白井 義一
- 小島 勝圓

お問い合わせは、相模原市自治会連合会事務局 (042・753・3419)へ

ご案内とお願い

「自治会報さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。